

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	14161				
事務事業名	水道事業費			会計	一般会計				
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	4	項	1	目	6
施策目標	上水道の整備								
後期計画掲載頁		頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等 地方公営企業繰出金について（繰出基準）	

事業の概要
 水道事業は、収入の補てんのための繰入金はないが、繰出基準に規定する繰出金について、繰り入れを行っている。水道事業費に計上されている繰出金は、地方公営企業職員に係る児童手当法に規定する児童手当の給付に要する経費の一部について繰り出すための経費である。

事業の目的

事業内容

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	298 千円	1,860 千円	2,012 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	298 千円	1,860 千円	2,012 千円

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度予定額
指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①					—	—	
②					—	—	
③					—	—	

1. 数値で表せる指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①					—	—	
②					—	—	
③					—	—	
2. 数値で表せない効果 (指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	現状継続	平成23年度から繰り入れを行っている。 平成24年度で金額が大幅に増加したのは、繰出基準の変更により、対象となる経費の枠が拡大されたためである。				
	評価点合計 14 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	14162				
事務事業名	簡易水道事業費			会計	一般会計				
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	4	項	1	目	6
施策目標	8 上水道の整備								
後期計画掲載頁	94		頁	個別計画					頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	公営簡易水道事業の運営に不足する資金を一般会計から繰出。									
事業の目的										
事業内容										
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度			
	総事業費（決算額）		137,488 千円		151,052 千円		135,937 千円			
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円		
		県支出金		千円		千円		千円		
		起債		千円		千円		千円		
		その他財源		千円		千円		千円		
		一般財源		137,488 千円		151,052 千円		135,937 千円		
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値		
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①					-	-			
	②					-	-			
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値		
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①					-	-			
	②					-	-			
2. 数値で表せない効果		(指標)								
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由										

評価	項目	必要性		有効性		効率性			
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	点数	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である		
		3	2	3	3	3	3		
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）							
	継続								
	評価点合計	公営簡易水道事業の運営において不足する資金については、一般会計からの繰入金による。							
	17	/ 18							

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	14163
事務事業名	温泉引湯事業費			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	4 項 1 目 6
施策目標	水資源の保全と活用				
後期計画登載頁	頁	個別計画	頁		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要	温泉事業の一元化に関する調査・研究のための担当職員の人件費について、一般会計から繰り入れた。								
事業の目的									
事業内容									
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		千円		千円		6,788 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		0 千円		0 千円		6,788 千円	
活動指標	指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度予定額	
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	千円				—	—		
	②					—	—		
	③					—	—		
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①					—	—		
	②					—	—		
	③					—	—		
	2. 数値で表せない効果								
	(指標)								
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	低い	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	2	1	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	現状継続						
	評価点合計	平成26年度からの温泉事業一元化に備え、専属職員を1名配置し、調査・研究を行った。					
	13 / 18						

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	14227
事務事業名	浄化槽設置推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	4 項 2 目 2
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進				
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画		頁
事業期間	平成6年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽設置事業補助金 集合処理区域（下水道事業区域、農業集落排水事業区域）外における個人設置型浄化槽の整備事業。 浄化槽管理事業補助金 集合処理区域（下水道事業区域、農業集落排水事業区域）外における浄化槽の維持管理事業。
-------	---

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の改善 河川等公共用水域の水質保全。
-------	---

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽設置事業補助金 浄化槽設置者に対し、設置する浄化槽の人槽区分に応じて補助金を交付。 浄化槽管理事業補助金 市浄化槽管理組合に対し、浄化槽管理事業に要する経費を補助金交付。
------	---

事業費	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
	総事業費（決算額）		74,844 千円	69,062 千円	73,632 千円
	財源内訳	国庫支出金	8,571 千円	9,613 千円	6,656 千円
		県支出金	8,571 千円	6,656 千円	9,250 千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	57,702 千円	52,793 千円	57,726 千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	浄化槽設置数	基	52	50	41	60	68.3%	60
	②								
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	水洗化率	%	64.8	66.4	67.4	67.5	99.9%	69.0
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果		(指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 平成18年度の下水道区域の見直しにより、浄化槽区域が拡大。
 平成25年度からこれまでの対象施設（一般住宅、別荘、民宿、店舗併用住宅等）に事業所や工場等を加え、汚水を排出する全ての建築物に対して補助を拡充。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	個別処理区域の水洗化率が公共下水道の区域と並ぶ水準まで向上した。個別処理区域は当市の水系の上流部に位置することから、引き続き補助を行って浄化槽の設置を推進し、さらに公共用水域の水質の保全・改善を図る必要がある。					
	評価点合計	18 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	16221		
事務事業名	農業集落排水事業運営費			会計	一般会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	6	項	2
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	農業集落排水事業特別会計への繰出金								
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の改善 河川等公共用水域の水質保全。 								
事業内容	農業集落排水事業特別会計への繰出金								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		83,716 千円		79,129 千円		84,586 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		83,716 千円		79,129 千円		84,586 千円	
		一般財源		千円		千円		千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
				実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①						-	-	
	②						-	-	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①						-	-	
	②						-	-	
	③						-	-	
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
	【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）								

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
		3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続						
	評価点合計	18 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	18461
事務事業名	公共下水道事業運営費			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	8 項 4 目 6
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進				
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要	公共下水道特別会計への繰出金
-------	----------------

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の改善 河川等公共用水域の水質保全。
-------	---

事業内容	公共下水道特別会計への繰出金
------	----------------

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	532,479 千円	536,529 千円	641,588 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	532,479 千円	536,529 千円	641,588 千円
	一般財源	千円	千円	千円

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

2. 数値で表せない効果 (指標)

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	継続	平成34年度頃まで、起債の元利償還金額が増加することが見込まれ、一般会計からの繰出金を極力抑制するために、定期的に下水道使用料改定を行うとともに、資本費平準化債の借入れを行う。				
	評価点合計	18 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	121112		
事務事業名	一般管理経費			会計	公営簡易水道事業特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	1
施策目標	8 上水道の整備						
後期計画掲載頁	94	頁	個別計画				頁
事業期間	平成18年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
公営簡易水道事業における水道使用料の賦課徴収に係る事務的経費

事業の目的
安全で安定した水道水を供給するために必要な収益的支出

事業内容
検針業務委託、簡易水道料金等電算システム委託、水道賠償責任保険・施設等損害賠償保険ほか

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	2,609千円	3,635千円	6,574千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	2,609千円	3,635千円	6,574千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	検針数	件	5,996	5,890	5,931	5,810	102.1%	5,900
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

2. 数値で表せない効果
 (指標) 検針業務は両地区を熟知したシルバー人材センターの検針員による効率的かつ確実な業務の遂行がされており、過去から実績のある(株)電算のシステムを運用し良好な賦課徴収業務が行われている。また、水道賠償責任保険料等の支払いにより、管理事故や施設が落雷等により被災した場合には修繕費を補填する形となっており、財政的負担の軽減に繋がっている。

【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由
 2ヶ月に一度、閉栓中の家庭の給水メーターをシルバー人材センターに委託し検針している。また使用料の賦課徴収等に関するシステム使用料として(株)電算に委託料を払っている。水道賠償責任保険、施設損害賠償保険料等については、管理事故に対する補償及び落雷や災害等による施設、設備への被害に対する保険のための保険料を支出している。以上については定量的な目標値は設定が

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	2	2	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)				
	今後の方向性	水道使用料の賦課徴収等に関するシステムは、これまでの実績等を勘案し引き続き(株)電算への業務委託を継続したい。検針業務については、中山間地に広範囲点在する集落への戸別検針であり、シルバー人材センターの設立趣旨や検針員も地元出身者であり、地域事情等を熟知しており効率的な業務の遂行が可能と判断し、引き続きシルバー人材センターへの業務委託としたい。また、水道賠償責任保険等についても想定外の管理事故に伴う被害者への補償費用の支出や逆に災害等により施設等に被害を受けた場合には、高額な修繕費の支出があっても保険に加入することで、財政的な負担を軽減できるため継続して加入したい。				
	評価点合計	15 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	121211		
事務事業名	水道維持管理費			会計	公営簡易水道事業特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	2
施策目標	8 上水道の整備						
後期計画掲載頁	94	頁	個別計画				頁
事業期間	平成18年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
公営簡易水道事業における水道水の安定供給

事業の目的
日々の安全で安定した水道水を供給するため必要な施設等の維持管理業務

事業内容
施設等の修繕、水質検査業務委託、水道施設電気計装・機械設備点検業務委託、水道台帳整備委託

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	31,182 千円	34,181 千円	42,819 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	31,182 千円	34,181 千円	42,819 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	原水・浄水水質検査	箇所	27	27	27	27	100.0%	27
②	計装設備保守点検	箇所	35	35	35	35	100.0%	35
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③								

2. 数値で表せない効果
 (指標) 法令に基づく水質検査の実施により、安全な水の供給に対するチェックが行われている。また、通年の施設・計装設備の点検業務により、安定した給水体制を維持しており設備等の故障対応や大規模修繕などについては、次年度における電気計装設備等の優先度による更新を可能としている。
 【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)
 突発的に発生する管路の漏水修繕や施設・設備等の故障修繕については目標値の設定が難しい。また、水質検査等の法令に基づくものについては定期的に行われるものであり回数の増減は発生しないため目標値設定はできない。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	低い	適正である
点数	3	3	2	3	1	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)					
	今後の方向性	継続	中山間地における公営簡易水道事業においては、地形的な問題から災害による管路の破損や施設・設備の老朽化が進んでいることによる自然漏水や、経年劣化による計装設備の故障が多くなっている。また、安全な水道水の供給には、各水源地等を定期的に回って行う水質検査業務が必要不可欠となっている。なお、電気計装設備の点検業務については、老朽化している設備について年間を通じて安定して運転するために必要であり、点検結果に基づき高額な費用を要する計装設備等の更新や必要度や緊急度に応じた優先順位による計画的な予算編成に役立っている。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	122111		
事務事業名	水道施設整備事業			会計	公営簡易水道事業特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	2	項	1
施策目標	8 上水道の整備						
後期計画掲載頁	94	頁	個別計画				頁
事業期間	平成18年	～	平成	年	根拠法令・要綱等		

事業の概要
八坂・美麻地区を給水区域としている公営簡易水道事業は、中山間地に広範囲に点在する集落に渇水期や災害時にも安定した水道水の供給を図るため、水系間を結ぶ連絡管を新設しているほか、老朽化した送・配水管の布設替及び水源や配水池に数多く設置している電気計装・機械設備の更新を計画的に実施している。

事業の目的
平成18年の市町村合併により引き継いだ旧2村の簡易水道事業を公営簡易水道事業として運営しているが、小規模な水源・配水池や管路延長の長い送・配水管は老朽化が進んでいる。また数の多い配水池等に設置している電気計装・機械設備の運転状況を八坂・美麻両地区それぞれある集中監視システムにより、離れた場所であっても携帯端末などを利用した異常内容と場所の特定が効率的に行えることで、職員の出動も迅速かつ確かな管理体制に役立っている。

事業内容
簡易水道事業債及び過疎対策事業債による事業として、地元要望に基づく災害時に強いライフラインの確保として、水系間を結ぶ連絡管の新設に着手している。
老朽化している送・配水管について順次予算の範囲内で耐震管に布設替を実施している。
電気計装・機械設備保守点検業務の実施結果から、緊急度や必要度等に応じた優先順位により計画的に更新等を実施している。

事業費	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
	総事業費（決算額）		19,131 千円	38,518 千円	23,174 千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	19,131 千円	38,518 千円	23,174 千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	連絡管新設	m		435	-	-	
	②	送配水管布設替	m	120	662	362	130	278.5%
③	電気計装・機械設備更新	箇所	5	14	7	8	87.5%	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①					-	-	
	②					-	-	
③					-	-		

2. 数値で表せない効果
（指標①～③）渇水や災害時における水道水不安定供給地区の解消を図るため、水系間を連絡する導水管の布設に着手している。小規模水源からの配水による給水であることから、老朽化した送・配水管の布設替や電気計装・機械設備の計画的な修繕・更新工事は安全で安定した水道水の供給を実現し、地区住民の快適な生活基盤の安定維持が図られている。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
一般会計からの繰入金に大きく依存している現状にあっては、一般会計における財政状況により事業規模も変動してくるため、緊急度や優先度に応じた厳選した事業の執行に努める。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	低い	適正である
点数	3	3	3	3	1	3	

評価	今後の方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	小規模な水源と配水池等による中山間地に点在する集落への安定した水道水供給にあっては、施設の老朽化をはじめ、自然災害による影響を受けやすくなっている。管路延長も長く水源及び配水池等の水道施設における電気計装・機械設備も数多くあり、故障や異常を監視するためには、計装設備を良好な状態で使用し、異常発生の際には迅速な対応をとる事が重要となっている。地区住民の安心・安全な生活の基本である安定した水道水の供給を図るためには、必要度や緊急度に応じた計画的な管路の布設替や計装設備の更新は今後も必要となってくる。給水人口の少ない簡易水道では施設の維持管理費や建設改良費が割高な投資となっているが、料金収入は限られており費用対効果、投資効果としては低い評価となっている。					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501112		
事務事業名	一般管理経費			会計	公共下水道特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	1
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
公共下水道事業の事務に係る一般管理経費。

事業の目的
・生活環境の改善
・河川等公共用水域の水質保全

事業内容
公共下水道事業の事務に係る一般管理経費。
平成23年度以降、平成26年4月に下水道事業を地方公営企業法の適用事業とするための準備を進めた。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	51,904 千円	47,937 千円	50,671 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	47,904 千円	46,717 千円	44,523 千円	
	一般財源	4,000 千円	1,220 千円	6,148 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②						-	-	
③						-	-	

2. 数値で表せない効果
(指標)

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である	
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	平成26年4月に下水道事業の法適化するとともに、水道事業と下水道事業の組織統合を図り、さらなる経営改善に取り組む。				
	評価点合計	18	/ 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501113		
事務事業名	接続促進事業			会計	公共下水道特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	1
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成16年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 下水道排水設備工事資金融資あっせん及び利子補給 下水道接続促進補助金
-------	---

事業の目的	公共下水道への接続促進。
-------	--------------

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 下水道排水設備工事資金融資あっせん及び利子補給 供用開始日から3年以内に下水道排水設備を設置する者に対し、工事資金の融資をあっせんし、利子補給する。 下水道接続促進補助金 供用開始日から3年以内に既存の浄化槽を廃止して汚水を当該下水道等に流入させるための工事を行う者に対し、補助金を交付。浄化槽廃止工事（汚泥の採取費、撤去費等）の経費を補助金交付。限度額10万円。
------	---

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	3,461千円	1,823千円	503千円
	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他財源	3,461千円	1,823千円	103千円	
	一般財源			400千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	下水道接続促進補助金	件	34	18	5	30	16.7%	10
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	下水道接続促進補助金	件	34	18	5	30	16.7%	10
②								
③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)					

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
平成22年度の主な管渠整備の完了に伴い、平成26年度以降は補助金対象者が減少。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	高い	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	下水道を整備してから早期に、浄化槽設置世帯を下水道へ切り替えられ、ある程度の水洗化率の向上が図られた。しかし、下水道区域内には、まだ多くの浄化槽設置世帯があり、水洗化率が向上しない要因の一つになっている。 今後も水洗化率をさらに向上させるために有効な補助事業であるため、補助内容の改善が必要。				
	評価点合計	15 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501122		
事務事業名	処理場運転管理事業			会計	公共下水道特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	1
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95		頁	個別計画			頁
事業期間	平成	9	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要
公共下水道施設（処理場、管渠）の維持管理。

事業の目的
河川等公共用水域の水質保全。

事業内容

- ・大町浄水センターの維持管理
- ・管渠（ポンプ施設含む）の維持管理
- ・松川浄水苑の維持管理事務委託

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	135,233 千円	148,360 千円	103,788 千円
	国庫支出金		6,685 千円	
	県支出金			
	起債			
	その他財源	135,233 千円	141,675 千円	103,788 千円
	一般財源			

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	処理水量（大町、仁科三湖）	1,324,063	1,346,968	1,323,612	1,370,000	96.6%	1,350,000
②	処理水量（常盤）	340,097	356,641	376,563	400,000	94.1%	398,000
③							

1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	有収水量（大町、仁科三湖）	1,312,067	1,332,489	1,337,544	1,353,000	98.9%	1,360,000
②	有収水量（常盤）	326,321	356,641	375,900	389,000	96.6%	397,000
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
平成9年の供用開始から16年が経過し、設備等の老朽化が進んでいる。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	下水道整備が進み、維持管理する施設ストックが増大した。今後、経年劣化による機能低下や機能不全となる施設及び設備が増加するにつれて維持管理費はさらに増加する。安定的な経営を行う上にも、下水道の維持管理についてその質を確保しつつ、コストを縮減し、効率的な事務を行うことが、厳しい財政状況において重要な課題である。				
	評価点合計	18 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501212		
事務事業名	公共下水道建設一般経費			会計	公共下水道特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	2
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95		頁	個別計画			頁
事業期間	平成	9	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要
公共下水道大町処理区の下水道施設整備に係る経費。

事業の目的
・生活環境の改善
・河川等公共用水域の水質保全

事業内容
公共下水道大町処理区の下水道施設整備に係る経費。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
		総事業費（決算額）	3,891	千円	3,514	千円	541
	国庫支出金		千円	千円	千円		
	県支出金		千円	千円	千円		
	起債		千円	千円	千円		
	その他財源	3,891	千円	3,514	千円	541	千円
	一般財源		千円	千円	千円		

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	管渠布設	km	-	0.4	1.0	0.1	1000.0%	0.5
②	整備面積	ha	-	14.4	1.7	0.1	1700.0%	1.0
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	整備率	%	83.8	85.6	85.8	85.7	100.1%	86.00
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由
平成21年度に主な管渠整備が完了。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	縮小 主な管渠工事が終了したことにより、事務経費も今後縮小していくことが見込まれる。				
	評価点合計	18 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501213		
事務事業名	公共下水道建設事業			会計	公共下水道特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	2
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95		頁	個別計画			頁
事業期間	平成	2	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要
公共下水道大町処理区の下水道施設整備。

事業の目的
・生活環境の改善
・河川等公共用水域の水質保全。

事業内容
・大町浄水センターの整備
・管渠施設の整備
・舗装本復旧
・下水道台帳の整備

事業費 財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	総事業費（決算額）	24,314 千円	64,105 千円	311,430 千円
	国庫支出金	4,700 千円	14,115 千円	139,200 千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	9,500 千円	44,500 千円	157,400 千円
	その他財源	10,114 千円	5,490 千円	14,830 千円
	一般財源	千円	千円	千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	① 管渠布設	km	-	0.4	1.0	0.1	1000.0%	0.5
	② 整備面積	ha	-	14.4	1.7	0.1	1700.0%	1.0

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	① 整備率	%	83.8	85.6	85.8	85.7	100.1%	86.00
	②							
	③							
2. 数値で表せない効果 (指標)								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由
平成21年度に主な管渠整備が完了。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
		3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	今後は、経年劣化による機能低下や機能不全で、処理場及び管渠の施設や設備の改築更新が増加する。一般的に行われている事後対応による改築更新では、汚泥流出や道路陥没等の重大な事故の恐れだけでなくコスト的にも不経済なため、限られた財源で事故の未然防止を目的とする計画的な改築更新が必要。					
	評価点合計	18 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501222		
事務事業名	常盤下水道建設一般経費			会計	公共下水道特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	2
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	6	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要
 特定環境保全公共下水道常盤処理区の下水道施設整備に係る経費。

事業の目的
 ・生活環境の改善
 ・河川等公共用水域の水質保全。

事業内容
 特定環境保全公共下水道常盤処理区の下水道施設整備に係る経費。

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,554 千円	1,131 千円	2,666 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	1,300 千円
	その他財源	1,554 千円	1,131 千円	1,366 千円
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25 (%)	(H26)	
①	管渠布設	km	-	0.1	-	0.1	0.0%	0.1
②	整備面積	ha	-	2.9	1.7	0.1	1700.0%	0.1
③								

1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25 (%)	(H26)	
①	整備率	%	88.8	89.5	89.9	90.0	99.9%	90.0
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由
 平成22年度に主な管渠整備が完了。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	縮小	主な管渠工事が終了したことにより、事務経費も今後縮小していくことが見込まれる。				
	評価点合計	18 / 18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501223		
事務事業名	常盤下水道建設事業			会計	公共下水道特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	2
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	6	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要	特定環境保全公共下水道常盤処理区の下水道施設整備。								
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の改善 河川等公共用水域の水質保全。 								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 松川浄水苑の整備 管渠施設の整備 舗装本復旧 								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		32,605 千円		3,616 千円		122 千円		
	財源内訳	国庫支出金		14,900 千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		13,400 千円		2,600 千円		千円	
		その他財源		4,305 千円		1,016 千円		122 千円	
		一般財源		0 千円		0 千円		0 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	管渠布設	km	-	0.1	-	0.1	0.0%	0.1
	②	整備面積	ha	-	2.9	1.7	0.1	1700.0%	0.1
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	整備率	%	88.8	89.5	89.9	90.0	99.9%	90.0
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由 平成22年度に主な管渠整備が完了。）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
		3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	今後は、経年劣化による機能低下や機能不全で、処理場及び管渠の施設や設備の改築更新が増加する。一般的に行われている事後対応による改築更新では、汚泥流出や道路陥没等の重大な事故の恐れだけでなくコスト的にも不経済なため、限られた財源で事故の未然防止を目的とする計画的な改築更新が必要。					
	評価点合計	18 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501231		
事務事業名	仁科三湖下水道建設一般経費			会計	公共下水道特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	2
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95		頁	個別計画			頁
事業期間	平成	11	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要	特定環境保全公共下水道仁科三湖処理区の下水道施設整備に係る経費。								
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の改善 河川等公共用水域の水質保全。 								
事業内容	特定環境保全公共下水道仁科三湖処理区の下水道施設整備に係る経費。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		9千円		10千円		10千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		9千円		10千円		10千円	
		一般財源		千円		千円		千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度実績値	平成24年度実績値	平成25年度実績値	目標値	達成率	次年度目標値
	① 管渠布設		km			-	-	-	(H26)
	② 整備面積		ha			0.1	-	-	
	③								
	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度実績値	平成24年度実績値	平成25年度実績値	目標値	達成率	次年度目標値
① 整備率		%	93.0	93.0	93.3	93.0	100.3%	93.3	
②						-	-		
③									
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由 平成19年度に主な管渠整備が完了。）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
		3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	縮小	主な管渠工事が終了したことにより、事務経費も今後縮小していくことが見込まれる。					
	評価点合計	18 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501232		
事務事業名	仁科三湖下水道建設事業			会計	公共下水道特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	2
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	11	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要	特定環境保全公共下水道仁科三湖処理区の下水道施設整備。								
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の改善 河川等公共用水域の水質保全。 								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 管渠施設の整備 舗装本復旧 								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		5,849 千円		1,712 千円		4,573 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		2,699 千円		650 千円		千円	
		起債		千円		1,000 千円		千円	
		その他財源		3,150 千円		62 千円		4,573 千円	
		一般財源		千円		千円		千円	
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	管渠布設	km			-	-	-	
	②	整備面積	ha			0.1	-	-	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	整備率	%	93.0	93.0	93.3	93.0	100.3%	93.3
	②								
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由 平成19年度に主な管渠整備が完了。）									

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続 今後は、経年劣化による機能低下や機能不全で、管渠の施設や設備の改築更新が増加する。一般的に行われている事後対応による改築更新では、汚泥流出や道路陥没等の重大な事故の恐れだけでなくコスト的にも不経済なため、限られた財源で事故の未然防止を目的とする計画的な改築更新が必要。					
	評価点合計	18 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	601112		
事務事業名	一般管理経費			会計	農業集落排水事業特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	1
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	6	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要
農業集落排水事業に係る一般経費。

事業の目的
・生活環境の改善
・河川等公共用水域の水質保全。

事業内容
農業集落排水事業に係る一般経費。

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,193 千円	3,940 千円	4,028 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	2,193 千円	3,940 千円	4,028 千円
	一般財源	千円	千円	千円

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①					-	-	
②					-	-	
③					-	-	

1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①					-	-	
②					-	-	
③					-	-	
2. 数値で表せない効果							
(指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由
平成19年度に主な管渠整備が完了。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	継続					
	評価点合計 18 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	601122		
事務事業名	施設管理経費			会計	農業集落排水事業特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	1
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成6年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	農業集落排水施設（処理施設、管渠）の維持管理。								
事業の目的	河川等公共用水域の水質保全。								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・処理施設一の維持管理 ・管渠（ポンプ施設含む）の維持管理 								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		14,020 千円		12,242 千円		13,624 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		13,012 千円		10,520 千円		11,528 千円	
		一般財源		1,008 千円		1,722 千円		2,096 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度実績値	平成24年度実績値	平成25年度実績値	目標値	達成率	次年度目標値
	①	処理水量	m ³	97,040	90,144	94,901	85,000	111.6%	85,000
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25 (%)	(H26)	
	①	有収水量	m ³	75,386	73,600	72,237	73,000	99.0%	73,000
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由									

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	<p>今後、経年劣化による機能低下や機能不全となる施設及び設備が増加するにつれて維持管理費はさらに増加する。安定的な経営を行う上にも、施設及び設備の維持管理についてその質を確保しつつ、コストを縮減し、効率的な事務を行うことが、厳しい財政状況において重要な課題であるため、適切な維持管理体制を整備することが必要。</p>					
	評価点合計	18 / 18					

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	601211		
事務事業名	施設改良事業			会計	農業集落排水事業特別会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	1	項	2
施策目標	9 下水道の整備と水洗化の促進						
後期計画掲載頁	95	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	6	年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要	農業集落排水施設の整備。								
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の改善 河川等公共用水域の水質保全。 								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 処理施設の整備 管渠施設の整備 								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		2,709千円		299千円		331千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		331千円	
		一般財源		2,709千円		299千円		千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	① 処理水量		m ³	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	① 有収水量		m ³	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	②								
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	点数	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である	
		3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）						
	今後の方向性	継続 今後は、経年劣化による機能低下や機能不全で、処理場及び管渠の施設や設備の改築更新が増加する。一般的に行われている事後対応による改築更新では、汚泥流出や道路陥没等の重大な事故の恐れだけでなくコスト的にも不経済なため、限られた財源で事故の未然防止を目的とする計画的な改築更新が必要。						
	評価点合計	18 / 18						

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	401111
事務事業名	安心・快適な給水の確保及び事業経営の健全化			会計	企業会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項
施策目標	上水道の整備				
後期計画掲載頁	94	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
大田市水道事業として、給水区域内の市民の皆様へ水道水を供給している。

事業の目的
水道水源の保全や計画的な施設整備と老朽施設の計画的な更新や耐震化を推進し、安全な水道水を安定して供給することを目的としている。

事業内容
水道料金等の賦課、徴収、送配水管等の適切な管理及び送配水管等の計画的な更新並びに水道事業会計の安定的かつ健全な運営に努めている。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		建設改良費(税込)	147,559千円	179,414千円	136,723千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	工事負担金等	千円	82,445千円	1,311千円	
	自主財源	147,559千円	96,969千円	135,412千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度予定額
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	水道事業収益(税抜)	千円	505,747	506,314	507,428	498,129	101.9%	542,158
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度予定額
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	純利益(税抜)	千円	38,724	46,473	37,488	15,973	234.7%	55,295
②	現金預金	千円	649,565	702,577	797,084	588,237	135.5%	824,942
③						-	-	

2. 数値で表せない効果
(指標)

【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3

評価	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)					
	今後の方向性	継続	収益的収入では、給水収益は給水人口の減少と節水志向のため、減少傾向が続くものと予測している。原水供給収益は安定的に推移しており、給水収益の減を補う重要な収益源となっていることから、今後の更なる需要の伸びに期待している。 導水管は水道の根幹的な施設であり、内陸直下型の大地震が予想される当地域では、管の耐震化も図る必要があり、今後もこれら更新事業に係る投資額の増大が予想されるため、計画的な施設の更新を進めている。 併せて、必要な投資と現金収支のバランスに留意し、将来の配水池築造等の大規模投資のための現金預金の確保と健全な財政運営に努める。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	401112
事務事業名	原水供給事業の継続			会計	企業会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項
施策目標	上水道の整備				
後期計画掲載頁	94	頁	個別計画		頁
事業期間	平成18年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要	大町市内に立地し飲料水を製造する会社に水道原水を供給している。								
事業の目的	給水人口の減少や節水意識により減少傾向が続いている給水収益の減を補うため、水道事業の附帯事業として原水供給事業を行っている。								
事業内容	矢沢水源の水道原水の余剰水を飲料水製造会社に供給し、原水供給収益を確保するとともに、地元の働く場の確保も併せて図っている。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		千円		千円		千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		千円		千円		千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度予定額
	① 原水供給収益（税抜）		千円	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	②						—	—	
	③						—	—	
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①						—	—	
	②						—	—	
③						—	—		
2. 数値で表せない効果		原水供給収益が増加することは、減少傾向の続く給水収益の減に対する補てんとなるため、現行料金体系を維持する上で、良い影響が生じている。							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性			
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	点数	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である		
		3	3	3	3	3	3		
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）							
	評価点合計	<p>拡大</p> <p>給水収益の減を補うため、資産の有効活用として、平成18年度から原水供給事業の取り組みを始め、収益の確保に努めている。平成24年度に施工した、新設導水管の布設により、従来よりも供給可能な原水の量が増えたことにより、飲料水製造会社の今後の更なる需要の伸びが期待できる。</p> <p>原水を利用する飲料水製造会社は、関東地方を中心とする国内のみならず、海外にまでその販路を拡大しようとしており、今後も貴重な収益源となることに期待をしている。</p>							
	18	18							

事務事業評価表

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	411111
事務事業名	温泉の安定的な供給体制の確立			会計	企業会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	項
施策目標	水資源の保全と活用				
後期計画登載頁	107	頁	個別計画		頁
事業期間	平成11年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要	大町市平葛地籍の4源泉から集湯し、集中管理施設から上原地籍の分湯施設まで約7.8kmの引湯を行っている。								
事業の目的	大町温泉郷をはじめとする温泉利用者（計10者）の諸活動のため、基本湯量の確保と安定的供給に努めている。								
事業内容	源泉からの集湯、送湯及び分湯を行っている。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		64,681 千円		65,042 千円		71,913 千円		
	財源内訳	国庫支出金			千円		千円		
		県支出金			千円		千円		
		起債			千円		千円		
		その他財源			千円		千円		
一般財源		64,681 千円		65,042 千円		71,913 千円			
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①						-	-	
	②						-	-	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	純利益（税抜）	千円	22,802	27,824	21,186	20,639	102.7%	9,421
	②	現金預金	千円	200,667	216,793	236,610	180,243	131.3%	182,590
	③								
	2. 数値で表せない効果 (指標)								
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	継続	温泉引湯施設全体の更新に必要な事業費は概算で17億円と試算されている。今後の投資について、平成26年度は信州・長野県観光協会の行う工事に併せて引湯管約1kmの更新を行うなど、他機関の行う工事に併せて効率的に老朽管等の更新を図っているが、減価償却費の額を超える投資が続く予定である。必要な資金は現金収支の範囲内で賄うことが基本だが、年間多くて2千万円程度の現金預金の増しか見込めない当会計にとっては、今後現金預金が減少し、更新事業に必要な資金を確保することができなくなることから、一般会計からの繰り入れや企業債に財源を求めることが必要になると考えている。				
	評価点合計	15	18				